

Title	小特集：公共選択：政策課題解決への試み
Sub Title	序 Preface
Author	大村, 達弥(Omura, Tatsuya)
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	2000
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.93, No.1 (2000. 4) ,p.1- 4
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-20000401-0001">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-20000401-0001</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 小特集：公共選択

—政策課題解決への試み—

この小特集所収の各論文はいずれも1999年7月3日・4日の両日、慶應義塾大学三田キャンパス北新館において開催された経済学会コンファレンスにおいて発表されたものがベースになっている。本コンファレンスは公共選択学会第3回全国大会を兼ねていたこともあり、両日の参加者は非会員を含め合計約160名を数えた。コンファレンス初日午後の特別講演「日本への教訓—市場の失敗と政治の失敗」は“メインイベント”ともいうべきで、米国でJ・ブキャナンとともに公共選択学の第一人者であるゴードン・タロック氏（現ジョージメースン大学）と、韓国の若手の気鋭政治学者、チェハン・キム氏（ハンリム大学）がそれぞれ“Democracy in Asia”と“Political Success as Cooperation Versus Political Failure as Collusion”という題目で講演を行い、柴田弘文（立命館大学教授）、吉田和男（京都大学教授）両氏が討論を行なった。研究報告は7つのセッションで構成され、それぞれ「補助金をめぐるレントシーキング」「金融」「特別講演」「構造改革」「年金福祉政策」「財政と政府規模」「選挙と政治参加」というテーマで公共選択論の視点から26の報告が行われた。詳細はコンファレンスプログラムを参照されたい。

この小特集に所収の論文は7編である。そのうち5編は非会員によるものであり、いずれも小特集担当編集委員の委嘱したレフェリーの審査を経たものであることを付記しておこう。幸い当編集委員には研究報告者から多くの掲載希望が寄せられた。ご投稿いただいた皆様、就中ご期待に添えなかった方にもここで深甚なる感謝の意を表する次第である。

コンファレンスプログラム（特別講演を除く）

（所属は当時のもの、氏名連記中下線は報告者）

### セッション1 「補助金をめぐるレントシーキング」

座長：大岩雄次郎（東京国際大学）

1：黒川和美（法政大学）

「Typology of Rent-Seeking Behaviors」

討論：ゴードン・タロック（アリゾナ大学）

2：矢根真二（桃山学院大学）・岡村誠（神戸市外国語大学）

「Complementary and Substitutive Lobbying Activity」

討論：田中廣滋（中央大学）

3：鷺見英司（法政大学大学院）

「補助金配分への官僚の役割と官僚行動仮説の検証」

討論：横道清孝（政策研究大学院大学）

4：西川雅史（郵政研究所）

「原子力発電所の建設と地方財政～原発建設に対する補償は過剰か」

討論：河村和徳（金沢大学）

## セッション2 「金融」

座長：米原淳七郎（追手門学院大学）

1：吉野直行（慶應義塾大学）・中田真佐男（同大学）・鈴木純一（同大学院）

「社会資本整備の財源とその評価」

討論：跡田直澄（大阪大学）

2：和田哲郎（日本銀行）

「日本の金融システム問題」

討論：小澤太郎（慶應義塾大学）

3：中北徹（東洋大学）

「産業構造からみた日本の金融再編を展望する～直接金融の意義を問う」

討論：池尾和人（慶應義塾大学）

4：内野耕太郎（慶應義塾大学大学院）

「不良債権の経済分析」

討論：川野辺裕幸（東海大学）

## セッション3 「構造改革」

座長：関谷登（東北学院大学）

1：竹中平蔵（慶應義塾大学）

「経済戦略会議の政策提言と政策決定」

討論：竹内洋（大蔵省理財局）

2：伊藤穰（横浜商科大学）

「構造改革の要因としての日米経済の変化」

討論：影山僖一（千葉商科大学）

3：大住莊四郎（新潟大学）

「New Public Management の適用に関する課題」

討論：上山信一（マッキンゼー&カンパニー）

4：臼木智昭（秋田県庁）・中島朋義（環日本海経済研究所）

「スロット配分方式に関する研究：規制緩和の公共選択分析」

討論：山内弘隆（一橋大学）

#### セッション4 「年金福祉政策」

座長：赤澤昭三（東北学院大学）

1：石山嘉英（日本IBM）

「これからの超高齢化社会の性格と公的年金改革」

討論：飯野靖四（慶應義塾大学）

2：中村まづる（青山学院大学）

「年金制度の将来：立憲的改革の視点から」

討論：藤田至孝（平成国際大学）

3：瀬名浩一（日本開発銀行）

「ゴールドプラン政策の分析と評価」

討論：権丈善一（慶應義塾大学）

4：名取良太（明治学院大学）

「補助金配分と政策形成に関する計量分析」

討論：矢口和宏（東北文化学園大学）

#### セッション5 「財政と政府規模」

座長：山田太門（慶應義塾大学）

1：土居丈朗（慶應義塾大学）

「日本の都市財政におけるフライペーパー効果：再考」

討論：長峯純一（関西学院大学）

2：白石浩介（三菱総合研究所）・東暁子（同研究所）

「応用一般均衡モデルによる法人税引き下げの評価」

討論：横山彰（中央大学）

3：山下耕治（横浜市立大学大学院）

「政府規模における仮説検証：公的資本 vs 公的移転 Under Powerful Authority」

討論：谷口洋志（中央大学）

4：田中宏（慶應義塾大学）・遠藤崇浩（同大学大学院）・佐藤公俊（同大学院）

「Fiscal Equivalence と資源の有効配分」

討論：岡崎哲郎（千葉商科大学）

5：廣瀬哲雄（産業統計研究所）

「個人責任による官僚制抑制」

討論：横山 彰（中央大学）

## セッション6 「選挙と政治参加」

座長：小林良彰（慶應義塾大学）

1：橋本晃和（政策研究大学院大学）

「序，日本型公共選択論：民意の選択メカニズムの計量分析」

討論：依田博（京都女子大学）

2：岩崎正洋（杏林大学）

「選挙と政党システム～比較政治研究と公共選択」

討論：森 正（愛知学院大学）

3：坂口利裕（横浜市立大学）・和田淳一郎（同大学）

「選挙区割りの最適化について」

討論：森脇俊雅（関西学院大学）

4：三船毅（愛知学泉大学）

「政治参加の公共選択論」

討論：河野武司（杏林大学）

5：羅 一慶（慶應義塾大学大学院）

「政治参加に関する公共選択的研究」

討論：河野武司（杏林大学）

大 村 達 弥

（経済学部教授）